

最高峰エベレストについて

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナンドール マダーブ ナラエン

地球の最高峰エベレストの頂上までスイスのチームが 1952 年に挑戦したのですがあと 250m というところで到達できませんでした。その後 1953 年にネパールのテンジン・ノルゲイとニュージーランドのエドモンド・ヒラリーが、初めてエベレスト征服に成功した。あれから 72 年経過した。今年 2 月でおよそ 7,200 名の登山家が登頂に成功した。年に 100 名程度の計算となる。エベレストの命名はインドが英国の植民地時代に、測量長官として務めたジョージ・エベレストにちなんで付けられたものである。

世界に、海拔 8 千メートル以上の山々は 14 座がある。その内 8 座はネパールに位置します。エベレストはその一つで最高峰である。ネパールは観光立国で、国を挙げて登山に力を入れている。特にエベレストは目玉としている。今後もエベレストを中心にヒマラヤ山脈の他の山々を登りに来る登山家は少なくないと思う。ネパールには 8 千メートル以下の山も数多く存在している。以下は世界のトップ 14 座の山々である。

- ①エベレスト 8,848m
マハラングルヒマラヤ(ネパール、中国)
- ②K2 山 8,611メートル
バルトカラコルム山(パキスタン、中国)
- ③カンチャンジャンガ山 8,586m
カンチャンジャンガヒマラヤ(ネパール)
- ④ローツェ山 8,516m
マハラングルヒマラヤ(ネパール)
- ⑤マカルー山 8,485m
マハラングルヒマラヤ(ネパール)
- ⑥チョー・オユー 8,188m
マハラングルヒマラヤ(ネパール)
- ⑦ダウラギリ I 8,167m
ダウラギリヒマラヤ(ネパール)
- ⑧マナスル山 8,163m
マナスルヒマラヤ(ネパール)
- ⑨ナンガ・パルバット山 8,126m
ナンガパルバットヒマラヤ(パキスタン)
- ⑩アンナプルナ I 山 8,091m
アンナプルナヒマラヤ(ネパール)
- ⑪ガッシャーブルム山 8,080m

- バルトカラコルム(パキスタン・中国)
- ⑫ブロードピーク山 8,051m
バルトカラコルム(パキスタン・中国)
- ⑬ガッシャーブルム II 山 8,035m
バルトカラコルム(パキスタン・中国)
- ⑭シシヤパンマ又はゴサインタン山
8,027m ジュガルヒマラヤ(中国)

ネパール政府の統計でみると

2024 年 12 月現在、7,000 名以上がエベレストの頂上に到達している。

男性数 6,664 名

女性数 870 名

- ・ 酸素補給なしで、1978 年 5 月 8 日にエベレストを初登頂した男性はイタリアのラインホルト・メスナーとペーター・ハベラーである。
- ・ エベレスト最速登頂の世界記録を保持になったのはペンブラ・ドルジ、ネパール人男性のシェルパで 8 時間 10 分に登りを終えている。
- ・ エベレスト登頂の最高齢者は、日本人の三浦雄一郎で 2013 年 5 月 23 日に登頂した。登頂時は 80 歳。
- ・ 日本人の田部井淳子が、1975 年 5 月 16 日に女性として初めてエベレスト山頂に立つ。
- ・ エベレストを最多の回数、30 回頂上に到達したのはネパール人のカミ・リタ・シェルパである。
- ・ アメリカ人のジョーダン・ロメロは、13 歳だった 2010 年に世界最高峰エベレストの登頂に、史上最年少で成功した。
- ・ ネパールの 18 歳のシェルパは、地球のエベレストをはじめ 14 の最高峰すべてに登頂した最年少の人物であります。
- ・ 今まで合計で 153 の国籍の登山者がエベレストの頂上に到達している。登頂回数が最も多い国々は、
 - ・ネパール - 1756 回
 - ・アメリカ - 748 回
 - ・インド - 526 回
 - ・中国 - 495 回
 - ・イギリス - 412 回

- ・日本 - 205 回
- ・ロシア - 177 回
- ・カナダ - 133 回
- ・フランス - 129 回
- ・オーストラリア - 122 回
- ・バブ・チリ・シェルパ、ネパール人は 1999 年に 21 時間山頂に留まり、山頂で最も長い時間滞在した記録を保持した。
- ・エベレスト登頂は過酷であるため、登ろうとして亡くなったのも 2023 年 12 月時点で 310 名に上っている。

●エベレスト登山の費用の改定

2025 年 9 月 1 日より、ネパール政府はエベレスト登山許可証の料金を 36%程引き上げることにした。春季(4~5 月)の料金をこれまでの 11,000ドルから 15,000ドルに改定したのである。

登山家にとって、許可証の料金は全体の費用の一部に過ぎない。許可証料金以外の費用としては、ガイド料、シェルパ(現地ガイド)の報酬、装備、酸素ボンベ、ベースキャンプでの食事や宿泊、輸送費など、多岐にわたる要素が含まれています。これらを総合すると、1 回のエベレスト登山にかかる総費用は、約 40,000ドルから 150,000ドルとされています。

●他のヒマラヤ山岳の登山費用は

エベレスト以外のヒマラヤ山岳の登山費用は、山の標高、技術的難易度、アクセスのしやすさ、そして選択するサービスのレベルによって異なる。例えば、8,000メートル級の山であるマナスルやチョー・オユーなどの登山費用は、エベレストと比べて低く設定されている。これらの山の登山費用は、通常 20,000ドルから 50,000ドルの範囲とされている。

●登山に掛かる費用の主な項目

- ・許可証料金: 山岳ごとに異なる政府発行の登頂許可証の費用。
- ・ガイド料およびシェルパの報酬: 地ガイドやシェルパの雇用費用。
- ・装備費用: 登山に必要な個人装備や技術装備の購入またはレンタル費用。
- ・酸素ボンベ: 高所登山で必要となる酸素ボンベの費用。
- ・ベースキャンプでの食事・宿泊費: ベー

スキャンプや中間キャンプなどの食事や宿泊の費用。

- ・輸送費: カトマンズ町から登山口の移動費用や荷物の運搬費用。

ネパールのヒマラヤ登山の費用は、選択する山、季節やサービスの内容などによって大きく異なる。エベレスト登山は特に高額であり、全体の費用は数万ドルから十数万ドルに及ぶ。また季節によって、登山人数に制限が掛けている。海拔 8,848メートルに聳えているエベレストは、地球の最高点として君臨している。ネパール語での名は「サガルマータ」で、「空の女神」を意味する。またチベット語では「チョモランマ」と呼ばれ、「宇宙の母神」意味する。ピークでは、毎年春に約 700~800 人の登山者が山頂を目指す、実際に制覇出来るのはほんの一部である。

エベレストの登山遠征は通常 2 ヶ月ほどを山で過ごし登山の訓練を繰り返す。山の悪名高い「デスゾーン」は 8,000メートル以上の高さであり、この海拔にある酸素は平地のわずか 3 分の 1 しかないとされています。高地には、最も簡単な作業でさえも非常に困難になります。テンジン・ノルゲイとエドモンド・ヒラリーによる初の成功した登頂は、現代登山の扉を開いたのである。

私自身はエベレスト街道方面にトレーニングをしたことはないが、4000~5000メートルの高地を越えたことは何度かあるが高山病に掛かったことはない。一昨年ミランクラブネパールの会員たちとネパールのムスタン旧王国に行ったとき、この地方に行く途中 4,500メートル級の高い山々を越えて行った。この時、高地を進んでいると参加者の方々は、自分の後頭部が重く感じたという。これを見て現地の人々に多分これは高山病であると知らされた。また一人は、食欲もないと言われ、取り敢えず水の補給をするように教えられた。幸いどれもが大事に至ることがなく、無事に旅を完結した。私自身も、何となく後頭部が重く感じた。後に高山病について調べると、高地に酸素が薄いことや突然高地に訪れることから起きると知った。

最近、山へ行く時は十分気を付けるようにしている。

以上